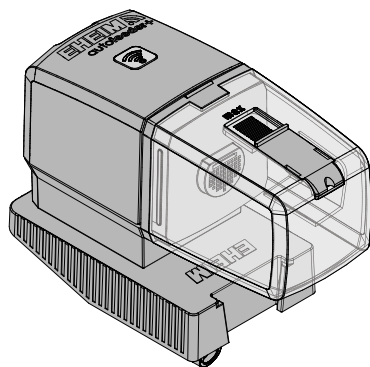


取扱説明書/保証書

EHEIM
autofeeder+

エーハイム オートフィーダープラス

観賞魚用自動給餌器



- このたびは、エーハイムオートフィーダープラスをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。
- この取扱説明書は保証書も兼ねています。必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。

日本総代理店

神畑養魚株式会社

用品部 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中3-3-20

【製品に関するお問い合わせ】

TEL **079-297-5420** FAX **079-293-6467**

ホームページアドレス <https://www.kamihata.co.jp>

エーハイム製品専用ページ <http://www.eheim.jp>

各部の名称・部品一覧、取扱説明書、アクセサリ別の使用方法や分解図などがご覧になれます。

※この製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承願います。

目次

- 2-3 — 安全にお使いいただくために
- 4 — 本製品のご利用について
- 5 — 無線LANに関するご注意
- 6 — 特徴／仕様
- 7 — 各部の名称／部品一覧
- 8-9 — 使用方法
- 10-11 — 本体無線LANとデバイスの接続について
- 12 — 校正方法について

本製品は観賞魚用品です。他の目的では使用しないでください。誤った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などにつきましては一切補償いたしかねます。

本製品は、本体内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN (Wi-Fi)を接続して操作します(※)。以下無線LAN規格に対応したデバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)およびご家庭の無線LAN (Wi-Fi)環境をご用意ください。

・無線LAN規格:IEEE802.11b/g/n ・送受信周波数:2.4GHz-2.5GHz (5GHz帯ではご使用いただけません)

※ご家庭の無線LAN(Wi-Fi)と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されます。

※Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービス、一部のポケットWi-Fiなど、機器間の通信ができない環境では操作がおこなえません。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告・注意などをよく読み、よく理解してからご使用ください。間違った使い方は、人や生体への影響、器具類の故障、感電、火災などの重大な事故の原因となりますので、絶対に避けてください。

⚠ 警告

⊘ 一般的な禁止の
通告

⚠ 使用者の行為を
指示する表示

正しい電源電圧 (AC100V) および周波数 (50/60Hz) 以外での電源使用はしないでください。



湯気など湿気の多すぎる場所、ホコリの多い場所では使用しないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



水滴れ、破損、故障の際は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出たり、異臭がしたら、直ちに電源プラグを抜いてください。



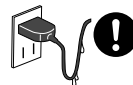
引火性のもの (ガソリン、シンナーなど) の近くで使用しないでください。



本製品の電源のON/OFFは必ず電源プラグの抜き差しでおこなってください。また、電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。(感電、発火の恐れあり)



電源コードは必ずループ状にたわませて設置してください。万一本体から漏水が発生した際、電源コードからコンセントに水が伝わって漏電する事故を予防することができます。(漏電、感電の恐れあり)



電源プラグの刃やコンセントの汚れは、定期的に取り除いてください。(発火の恐れあり)



使用しないときは電源プラグを必ず抜いてください。(故障、発火の恐れあり)



電源コードに水が伝わってしまった場合は、電源プラグを抜かず、直ちに元電源のブレーカーを遮断したあと、電源プラグを抜いて、状況を確認してください。



本体及び電源アダプターは防水仕様ではありません。絶対に濡らしたり、濡れた手で触らないでください。濡らした場合は再使用しないでください。(感電の恐れあり)



本体を落としたり、ぶついたりして傷をつけないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



本製品を分解・改造しないでください。(故障の恐れあり)



電源プラグやコンセント部を濡らしたり、濡れた手で触らないでください。また、濡れた手で電源プラグの抜き差しをおこなわないでください。(感電の恐れあり)



製品に破損のある状況では使用しないでください。(ケガの恐れあり)



⚠ 注意

本製品は日本仕様として製造されています。国内でのみお使いください。



屋内専用です。屋外では使用しないでください。



本製品は、無線LANを経由して操作します。無線LANに対応したデバイス (スマートフォン、PC、タブレット等) を用意してください。



本製品のご使用時における生体の病気などの補償はいたしかねます。予めご了承ください。

本製品の仕様に適したエサを使用してください。

本製品は、付属の設置台(プラットフォーム)を使用してしっかりと固定するからで安定した場所にしっかりと設置してください。(落下の恐れあり)

電源コードは経年劣化により硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検をおこなってください。(感電、発火の恐れあり)

電源プラグは、コンセント口の奥まできちんと差し込んでください。コンセントの容量を超えたタコ足記線やテールタップ(延長コード)の使用はおこなわないでください。(発火の恐れあり)

小さなお子様に操作させたり、さわったりさせないでください。(水漏れ、故障、感電の恐れあり)

本製品は磁界および電波を発生させるため、磁気媒体をはじめとした磁気の影響を受ける機器は近づけないでください。また、ペースメーカーをはじめとする磁気および電波の影響を受ける可能性のある医療機器や精密機器をご使用の場合は、それらの機器類の取り扱い説明書に記された安全距離を必ず保つようにしてください。

1日に1度は正常に作動しているか確認してください。異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、生体の安全のための適切な処置をおこなってください。

電源コードを傷めないでください。曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど。(感電、発火の可能性あり)

電源コードにつまづいたり、引っ掛けてしまわないよう取り付け、取り直しにご注意ください。

本製品を電子機器、精密機器、楽器など、水分、塩気を嫌う製品のそばに設置しないでください。(これらの製品が故障する恐れがあります)

電源アダプターは水がかからない場所に設置してください。

電源アダプターは風通しの良い床面に設置し、布などをかぶせたり、物を置いたりしないでください。電源アダプターの放熱を妨げる設置は行わないでください。

電源アダプターのDCプラグの抜き差しによる電源のON/OFFは行わないでください。故障の原因となります。

電源アダプターの誤った設置は、製品の故障や火災の原因となる恐れがあります。

その他のご注意・お願い

- 本製品は梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異常がないかを確認してください。破損などが見つかった場合はそのままご使用せずにお買い上げ店にお申し出ください。
- お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。製品の品質劣化、生体への悪影響の恐れがあります。ぬるま湯に浸した布や、柔らかいブラシを使用してください。
- 淡水水槽に比べ、海水水槽で使用した場合、製品の劣化が早まる可能性があります。こまめにメンテナンスをおこなってください。
- 他の人に譲渡される場合は、必ず、この取扱説明書と、保証書も一緒にお渡しください。
- 本製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承ください。

本製品のご利用について

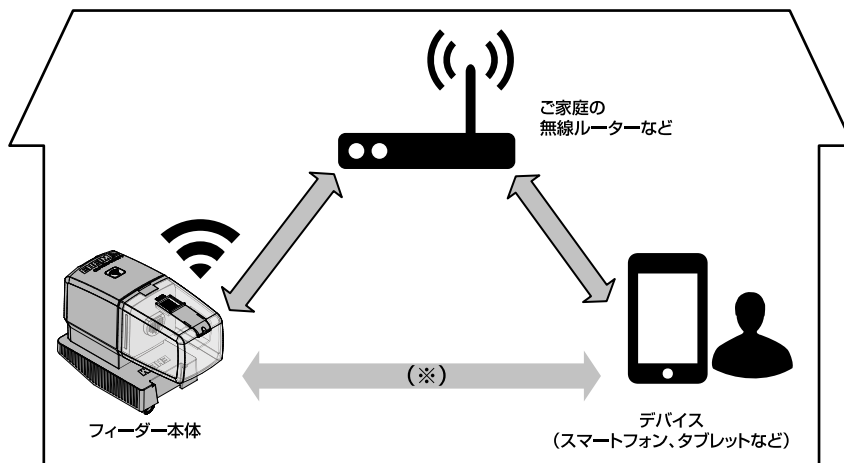
本製品は、本体内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN(Wi-Fi)を接続して操作します(※)。無線LAN規格に対応したデバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)およびご家庭の無線LAN(Wi-Fi)環境をご用意ください。

※インターネット(ご家庭の無線LAN(Wi-Fi))と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されるため、おすすめいたしません。

※本製品とインターネットとの接続は無線LAN(Wi-Fi)に限ります。有線LANによる接続はできません。

※Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービス、一部のポケットWi-Fiなど、機器間の通信ができない環境では操作がおこなえません。

※全てのユーザー様環境における性能・動作の保証はいたしかねます。



無線LAN対応規格	IEEE802.11b/g/n
送受信周波数	2.4GHz-2.5GHz(2400M-2483.5M) (5GHz帯ではご使用いただけません)

ソフトウェアパラメーター

アクセスモード	station/softAP/SoftAP+station
セキュリティ	WPA/WPA2

※Wi-Fi、WPA、WPA2はWi-Fi Allianceの商標登録または商標です。

※BluetoothはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

※その他本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または商標登録です。

無線LANに関するご注意

●本製品は絶対に分解・改造しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に違反します。

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規制を遵守しております。本製品内部の分解・改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に違反します。故障の際は弊社カスタマーサポートに修理をご依頼ください。

●本製品は無線によるデータ通信を行う装置です。本製品の不具合、誤動作、または停電、回線障害、その他の外部要因によって通信障害が発生したために生じた損害等については、弊社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本説明書は、無線LAN対応デバイス(スマートフォン、タブレット、PC)の基本操作ができる前提での説明となりますのでご了承ください。また、デバイスの操作や接続環境に関するご質問やお問い合わせについてはお答えできかねますのでご理解ください。

●本製品を含むイーハイムのWi-Fi製品を複数台接続する場合は、それぞれの機器の距離はおおよそ10m以内の範囲でご使用ください。機器同士が遠すぎたり、電波を通しにくい環境では複数台の接続が難しい場合があります。

●本製品が金属物で囲まれている、デバイスとの間に金属や鉄筋コンクリートなど電波を通しにくい物がある場合は、電波のノイズを受けたり到達距離が短くなるなどで通信できないことがあります。

●本製品は、心臓ペースメーカーの装着部位から20cm以上離して使用してください。本体からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

●本製品は下記の機器などからの電波の影響を受けることがあります。できるだけ離してご使用ください。

- ・加熱調理中の電子レンジ
- ・ワイヤレスAV機器(テレビ・ステレオ・PCなど)
- ・アマチュア無線局
- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・Bluetooth対応機器 など

●無線LANは電波を使ってデータを送受信するため、不正アクセスを受ける恐れがあります。無線LANのご使用にあたってはその危険性を十分にご理解いただいたうえで、データの安全性を確保するためセキュリティ設定を行ってください。

●本製品の修理を依頼する際は、すべての設定を初期化(工場出荷時の状態にリセット)し、Wi-Fi接続設定やメールアドレス登録を消去してください。故障の状態により、操作が困難な場合は弊社カスタマーサポートまでご相談ください。

5







無線LAN接続の方法については、p10-11をご確認ください。

特徴／仕様

各種電子制御機能について

以下の電子制御機能は、無線LAN経由でのソフトウェア操作を必要とします。無線LANに対応したデバイス(スマートフォン、PC、タブレット等)を用意してください。操作画面の詳細説明については<http://eheim.jp>よりソフトウェア操作マニュアルをダウンロードしてご覧ください。

	<p>給餌スケジュール…給餌する時間、回数を設定できます。一日に複数回給餌する設定が可能です。給餌量は、給餌コンテナ(エサ容器)の開口部の開き具合および画面操作による給餌コンテナの回転数設定で調整できます。</p>		<p>エサの残量…給餌コンテナ内のエサの残量(目安)を表示します。エサが減ってくると給餌量のバラつきが大きくなるため、早めにエサを充填してください。</p>
	<p>スマートコントロール…プロフェッショナル5eをペアリングさせて、給餌中に自動でフィルターの流速を遅くしたり、速くすることが可能です。</p>		<p>断食…1週間に一日、ランダムな断食日を設定することができます。</p>

エサについて

粉末・顆粒・粒・フレークなど、いろいろな種類のエサが使用できます。ただし、以下のエサにおいては、本製品では使用できない、もしくは使用が適さない場合があります。

【使用不可】

- 活餌
- 冷凍飼料
- 水分の多いエサ、半生のエサ
- 15mm以上あるエサ

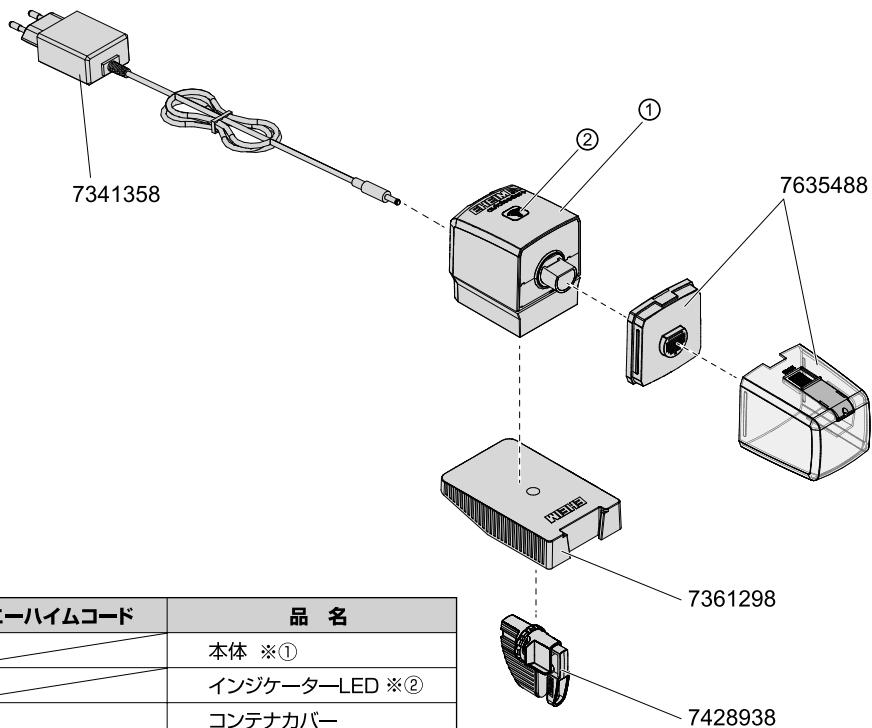
【使用が適さない場合がある】

- フレーク状のエサ:フレークの大きさによって給餌量にバラツキが出る場合があります。
- フィーダーの残量が正確に表示されませんので目視による確認のうえ、エサの補充をしてください。
- 10mm以上や特殊な形状(スティック状、タブレット状等)のエサ:給餌量にバラツキが出る場合があります。

製品仕様

機種		オートフィーダープラス	
エーハイムコード	3583300	本体寸法および重量 (取付スタンド含まず)	約146×60×77mm 約250g
定格周波数	50/60Hz共通		
定格消費電力	5W		
定格電圧	AC100V	適用	淡水・海水両用、屋内専用

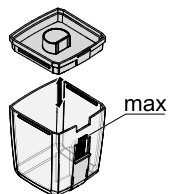
各部の名称 / 部品一覧



エーハイムコード	品名
	本体 ※①
	インジケータLED ※②
7635488	コンテナカバー 給餌コンテナ
7361298	プラットフォーム
7428938	クランプ
7341358	電源アダプター

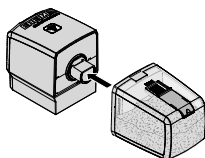
使用方法

1



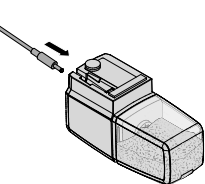
給餌コンテナにエサを充填します。コンテナの開口部が閉じていることを確認してからコンテナカバーを外してエサを入れてください。このとき「max」の線を超える量はいれないでください。エサを入れたあとコンテナカバーを閉めてください。

2



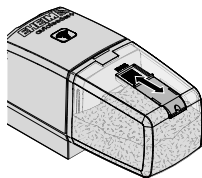
給餌コンテナを、上下の向きに注意しながら本体の突起部分に取り付けます。このとき給餌コンテナの開口部を上に向けた状態で根元までしっかり差し込んでください。

3

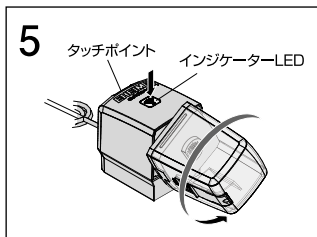


本体底面にあるDCジャックにDCプラグを差し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

4



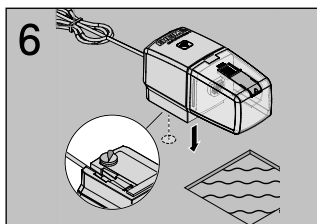
給餌コンテナが本体にしっかり装着されていることを確認し、開口部の開き具合を調整します。



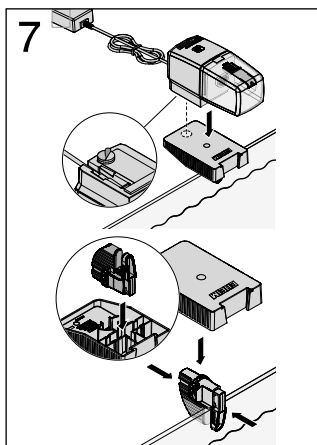
【重要】本体背面にあるタッチポイントに指を1～2秒押し当てると、インジケータLEDが点滅します。インジケータLEDが点滅した状態で指を離すと、給餌コンテナが1回転します。1回転で出たエサの量を確認し、必要に応じて開口部の開き具合を調整してください。

【注意】一度に多量のエサが出る可能性があるため、開口部は徐々に開いて給餌量を調整することをおすすめします。本製品で使用できるエサの種類・サイズ・形状についてはp6「エサについて」をご参照ください。

【注意】タッチポイントを10秒程度長押しすると、本体の設定が初期化されます。操作時には十分にご注意ください。



水槽のフタに設置する場合は、付属の固定テープ(面ファスナー)を使用します。表面のシールを剥がして設置したい場所へ貼り付けます。この時、給餌コンテナの回転に支障がないよう、またエサが水槽外へ出てしまわないか事前に確認してからシールを貼り付けてください。




オールガラス水槽のフチに設置する場合は付属のプラットフォーム、固定テープ(面ファスナー)、クランプを使用します。あらかじめ図のような向きでクランプを水槽にしっかり固定した後、プラットフォームを上から乗せる形で取り付けます。このとき、クランプがぐらついていないか、しっかり水槽に設置されているかよく確認してください。固定テープ(面ファスナー)をプラットフォームへ貼り付けます。この時、給餌コンテナの回転に支障がないよう、またエサが水槽外へ出てしまわないか事前に確認してからシールを貼り付けてください。

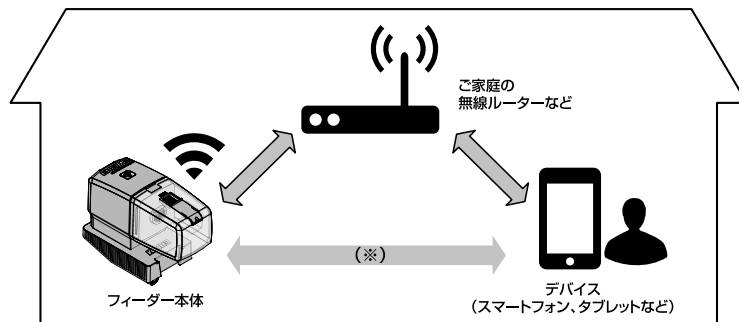
本体無線LANとデバイスの接続について

本製品は、本体内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN(Wi-Fi)を接続して操作します(※)。無線LAN規格に対応したデバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)およびご家庭の無線LAN(Wi-Fi)環境をご用意ください。ソフトウェアのアップデート等により、内容が変更される場合があります。詳しくは<http://www.eheim.jp>の商品ページをご確認ください。

※以下の手順は、エーハイムデジタル機器を初めて使用する際の接続方法です。複数台使用する場合の、2台目以降の接続方法は、ここで説明している方法とは異なります。2台目以降の接続方法については、<http://www.eheim.jp/>のエーハイムデジタル機器の商品ページにある画面操作マニュアルをご確認ください。

Step 1. 本体無線LANとデバイスを接続する

1. P8~P9の操作で電源プラグをコンセントに差し込んだ状態になっています。ここからは無線LANとデバイスを接続していきます。
2. 電源を差し込むとフィーダーのインジケータールEDが点灯します。
 - 白色⇒青色に点滅:ネットワークの検索または作成中
 - 青色に点灯:ネットワークの作成完了
3. インジケータールEDが青色に点灯したことを確認後、デバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)のネットワーク設定画面(Wi-Fiの設定)を開くか、QRコード1を読み込みます。QRコード1を読み込んで接続した場合は、次の手順4. は不要です。手順5. に進んでください。QRコードは本体シールに記載されています。
4. Wi-Fiネットワークを、フィーダーの無線ネットワーク #EHEIM Feeder_XXXXXXX(機体別識別番号)に切り替えます。本体シールに記載されているパスワードを入力して接続してください。
5. Wi-Fiが接続されたことを確認後(例:デバイスに無線LANマーク  が表示されるなど)、インターネットブラウザを開き、Webアドレス <http://192.168.1.1> を呼び出すか、QRコード2を読み込みます。
 - ※インターネットには接続されておらず、予測検索は使えません。アドレスは正確に入力してください。
 - ※Wi-Fi設定直後は接続が不安定な場合があります。数分程度時間を置いて入力することをおすすめします。
 - ※操作画面の詳細説明については<http://eheim.jp>より画面操作マニュアルをダウンロードしてご覧ください。



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

Step2. ご家庭の無線LAN経由で、フィルター本体無線LANとデバイスを接続する

インターネット(ご家庭の無線LAN等)と接続することで、ソフトウェアのアップデートやフィルター本体からのアラートメールの受信が可能になります。

※Step1のみでインターネット(ご家庭の無線LAN(Wi-Fi))と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されるため、おすすめいたしません。

※本製品とインターネットとの接続は無線LAN(Wi-Fi)に限ります。有線LANによる接続はできません。

※外出先のWi-Fiなど、本体に接続した無線LAN以外のネットワークによる接続・操作はできません。

1. 前ページStep1.(1～5)の方法で、本体内蔵の無線LANとデバイスを接続し、フィルターの登録、各種設定をおこなってください。
2. 操作画面上の「設定」アイコンから設定画面に進み、「ネットワーク」を選択します。
3. 「使用可能なネットワークに接続」>「ネットワークを検索」を選択します。
4. 接続したいWi-Fiネットワークを選択し、パスワードを入力して接続します。この時、2.4GHz帯のWi-Fiネットワークを選択しているかご確認ください。
5. 接続に成功すると最終画面下部に複数のURLが表示されます。後で必要になるURLのため、**必ずメモ・スクリーンショットなどで保存してください**。チェックボックスにチェックを入れ、「接続」ボタンを押してください。本体のインジケータLEDが青点灯になるまで待ってからブラウザをいったん閉じてください。デバイス(スマートフォン、タブレット等)の機種や設定によっては自動で画面が遷移する場合があります。その場合は画面を閉じる必要はありません。2回目以降の操作画面を開く方法については次項に記載した手順をご覧ください。
6. デバイスのネットワーク設定を開きます。Wi-Fiの接続先候補から#EHEIM Feeder_xxxxxxxが表示されなくなりますので、手順4.にて接続したネットワーク(ご家庭の無線LAN等)を選択してください。
7. 再度インターネットブラウザより、手順5で表示された1番目のURL <http://eheimdigital.local/>または2番目のURL <http://eheimdigital/>を入力します。これらのURLでも接続できない場合は、3番目のURL <http://192.168.●●.△△>を入力し、操作画面を開いてください。

※お使いのデバイスのOSやブラウザによって接続できるURLが異なります。

※使用開始後にWi-Fiルーターの電源が切れた場合は、先のURLを入力しても操作画面が開けなくなる場合があります。

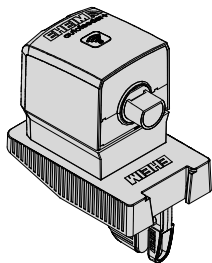
その場合はフィルター本体をリセットし、もう一度Step.1からやり直してください。

※接続手順がうまくいかずやり直したい場合や、外部ネットワークとの接続を解除したい場合は、本体背面のタッチポイントを10秒程度、長押ししてください。

本体LEDが点滅し、ネットワーク接続がリセットされます。

校正方法について

1

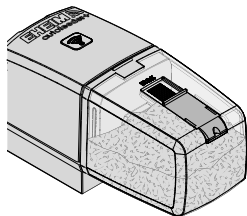


ご使用前にエサの重量の校正をおこないます。給餌コンテナを外してフィーダーをプラットフォームに設置した状態で、操作画面上の校正ボタンを押します。



校正ボタン

2



次に、エサが充填された状態の給餌コンテナをフィーダー本体に装着し、操作画面上の「オートフィーダーへの充填」ボタンを押します。これで校正は完了です。

エサの残量表示は使い切ってもゼロにならない場合や、表示にズレが生じる場合があります。エサを充填する際は、その都度(1)(2)の校正をおこなってください。

MEMO

Dotted lines for writing content.
